

折橋の由来

《宮本》

宮本屋敷の前を流れている川は、前川、日和田川と呼ばれている。昔はこの川に、丸木橋が架けられてあった。大水が出ると、流れてしまうので、渡ることができずここから折返したので、折橋の名前が付けられたといわれている。



折橋の碑

大橋を架け、その上、修理も我が子孫がある限り、佐藤一家にて行うといわれて、記念に、永代供養佐藤武兵衛の石碑を橋の傍に建てた。以来、村人たちは、永代橋または万代橋と呼ぶようになった。

昭和四十年、農免道路の工事によって、橋はコンクリートになり、石碑も遷された。そのとき、石碑の下から槍の穂先が掘り出された。永代供養の魔除の為に埋められたものであろう。

(話者 佐藤春雄)

小中館由来

《小中》

小中志茂屋敷の裏山は、小中館と呼んで、内山家が居住していた。その先祖は、三浦兵三郎平為道の